

環境と健康のコミュニティ活動助成事業

10市町14事業に120万円の助成

増加する共助井戸の取り組み

当協会では、環境と健康をテーマにしたコミュニティ活動を支援する一環として、地域活動支援基金を活用した「環境と健康のコミュニティ活動助成事業」を実施しています。

令和5年度は、「環境づくり」「健康づくり」「脱温暖化」「防災・減災」の4区分で、10市町14事業に対して総額約120万円の助成を行うことを基金運用委員会で決定いたしました。

今回は、助成する14事業の概要を紹介します。

【環境づくり】

「花いっぱい運動」をテーマに、①竹原市竹原地区（来須）、②府中市川原町、③府中市元町地区、④三次市酒屋地区、⑤三次市の5公衛協が活動されます。植える花は黄スイセンやヒマワリ、パンジーなどさまざまで、土手や通学路など、住民の目に触れやすい場所が選定されています。

三次市酒屋地区で



アサギマダラの観察会（尾道市）（上）、砂留のメンテナンス（福山市）（下）

は、竹でブランターを作った竹藪（たけやぶ）対策にも取り組めます。また三次市では、今年開催される女子野球ワールドカップに合わせて、会場周辺を花で彩り、おもてなしをする予定です。

その他、尾道市今津野学区がアサギマダラという蝶を呼びためにフジバカマを植えたり、福山市有磨学区が歴史的資源である砂留とその周辺整備を行うなど、地域性に富んだ活動が展開されます。

【健康づくり】

大崎上島町では、歯周病をテーマに口腔保健に関する講演会を開催します。講演会前に町民にアンケート調査を行い、その結果を基にした

廿日市市では、市内にある四季が丘市民センターの窓に内窓や断熱材を設置して、エネルギー削減と普及啓発を行っています。内窓や断熱材の設置は、専門家の指導のもとで地域住民（親子）が作業を行う予定です。ゼロカーボンシティ宣言を行う

【脱温暖化】

また、福山市本郷学区では、地元の急傾斜で滑りやすい登山道の環境整備を行い、小学校低学年でも楽しめるハイキングコースづくりを目指す取り組みが行われます。

ている廿日市市で、公共施設に断熱作業を施すことで、施設を利用する市民に広く普及啓発が行われることが期待されます。

【防災・減災】

近年、公衛協活動のメニューとして取り入れられている「共助井戸」に関する取り組みが、府中町と海田町、福山市、廿

日市大野で展開されます。

役場の防災担当部署や地域の自主防災会と連携を図りながら、共助井戸の調査・登録やマップ作りなどが行われます。登録にあたっては、目印としてシールや看板などを貼付される取り組みも行われる予定です。

環境と健康のコミュニティ活動助成金を活用し、さまざまな事業が展開されることで、公衛協の活性化につながることを期待します。

（地域活動支援センター）

【報告】

TEAMMATEひろしま総会開催

3回の学習・交流会を予定

5月17日にTEAMMATEひろしま総会を開催し、14団体26名が参加して前年度の振り返りと今年度の活動について協議しました。

今年度のTEAMMATEひろしまの事業は、昨年度に引き続き、情報の提供とTEAMMATE

Eひろしまの交流を深めることを目的に、年に3回、「学習交流会」を実施します。

第1回は、教材づくりです。地球温暖化防止に繋がる自由なテーマで、参加者が泊二日でオリジナル教材を完成させます。作成後は、TEAMMATEひろしまオリジナル教材の貸出グッズとして整備し、活用する予定です。推進員や公衛協をはじめとした各種団体にも

使いやすい教材を作成しますので、ご活用ください。

第2回は、窓の断熱ワークショップです。窓の断熱について、座学とDIY体験で学びます。既存の窓に内窓を設置することで断熱性能を上げ、光熱費の削減と、健康面のメリットなどを学びます。

第3回は、食品ロス削減セミナーです。フードマイレージについて基本を学び、食料

輸送に伴う環境負荷を算出します。

その他、総会では、情報提供として、広島ガス株式会社 環境社会貢献部環境グループ 永田征人様、力田まりな様から、広島ガスにおける環境貢献活動と地域の皆さまとのコミュニケーションについて、講演いただきました。

今年度活動するテーマの情報交換のほか、各団体の悩みや疑問を他の協議会に相談しながら、今後の活動に繋げる機会となりました。

今回の意見交換で得られた情報は、各団体の今後の活動や脱温暖化センターひろしまの取り組みに活かしていきます。

（脱温暖化センターひろしま）

全公衛協で現状や課題を確認
公衛協ヒアリング始まる

今年度、当協会の地域活動支援センターは、すべての市町公衛協を対象に、公衛協の現状や課題をざっくばらんに話し合う場を持ちます。

かねてから課題となっている高齢化や人材不足に加え、コロナ禍で活動が停滞したことによる事業継続も大きな課題です。

そこで、公衛協の現状と課題を把握し、実情に合わせた支援が行えるよう、すべての公衛協に出向き、現状を伺う中で得られた情報から、支援内容や体制を検討していきます。

各公衛協でのヒアリング内容を統一して、全体としての方向性を集約するため、「組織について」「環境づくり事業について」「健康づくり事業について」「脱温暖化事業について」「防災・減災の取り組みについて」「環境・健康募金」など、テーマごとに

現状や課題をお聞かせします。

6月中旬に5件のヒアリングを終えており、自治会加入率に係る課題、役員や会長職の後任の問題、野生鳥獣によるごみあさりや、田畑、人への被害が出ていること、募金の周知方法などさまざまなお話をお聞かしています。

これからお伺いする公衛協の皆さまは、あまり身構えず、ざっくばらんに現状や感じている課題、当協会への要望をお聞かせください。

（地域活動支援センター）



意見交換をする参加者